

令和6年9月吉日

各位

日本学校図書館学会
会長 吉富 芳正

令和6年度 第27回 日本学校図書館学会 研究発表大会のご案内

ようやく朝晩と暑さが和らいでまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、令和6年度日本学校図書館学会研究発表大会における研究発表は、昨年度同様、対面による実施と同時にオンラインによるライブ配信を行います。ぜひご参加いただきますようご案内いたします。

記

- 1 日時 令和6年9月28日(土) 9:30~16:20
- 2 主催 日本学校図書館学会
- 3 会場 昭和女子大学 1号館5階 5S33 (世田谷区太子堂1-7)
東急田園都市線三軒茶屋駅 徒歩10分
オンライン Zoom ウェビナーによるライブ配信も実施
- 4 参加費 学会員は無料・学会員でない方は1,000円



- 5 大会参加方法 「研究発表大会参加者ポリシー」にご賛同いただくとともに、本学会ホームページからリンクを張ったサイト <https://jssls.peatix.com> または、左記のQRコードから、「研究発表大会参加申し込み」フォームに必要事項を入力する。会場にて対面参加希望の方は完全予約制とし定員に達した場合は締め切りとする。オンライン参加希望も申し込みサイトは同じ。参加申込締め切りは大会前日9月27日(金)。同日にZoom番号をメールでお知らせする。対面参加をオンライン参加に切り替える場合の連絡は不要。



- (1) 入力方法: 9/28 研究発表大会 → チケットを申し込む

→ チケット選択で、入場券(対面参加)またはオンライン参加を選んで+で参加者数を入力
→ メールアドレスと所属の入力
→ Facebook, Google ユーザーでない方はメールアドレスとパスワードでもログイン可能 → 全角カタカナで実名を入力、表示名はニックネームでなく実名にする → チケットを申し込む
→ チケットの確認方法が
iPhone, Android であればそれを、そうでない人は「ブラウザでチケットを表示する」とする
→ チケット表示でQRコードが表示されれば登録できている
→ メールで登録完了のお知らせが届く

- (2) 対面大会参加方法: 昭和女子大学正門で検温後、会場にて手指消毒と受付。事前にスマホでPeatixにログインして入場用のQRコードを表示するとスムーズに入れる。名簿照会による受付も可能。
- (3) オンライン大会参加方法: 大会前に「イベントに参加」としても「無効なミーティングID」と表示される。



大会前日にメールで参加方法に関するお知らせが届く。届いたお知らせの URL を選ぶと自動的にオンライン会議システム Zoom ウェビナーに移動する。あらかじめ Zoom をダウンロードしておくことによりスムーズに繋ぐことができる。

6 参加に当たっての留意事項

- (1) 参加申込者は、本学会の会員でなくてもよい。
- (2) 参加者は、会場で対面、または各自のパソコンなどを用いてオンライン会議システム Zoom によって視聴する。
- (3) オンライン会議システムに入るために必要なミーティング ID とパスワードは、大会前日の 9 月 27 日に申込者にメールで知らせる。
- (4) 「研究発表要旨集」は電子版で発行し、本学会のホームページからダウンロードできるようにする。発表書が当日発表用資料を紙で用意した場合は、オンライン参加者には配布しない。データで用意した場合はチャット機能で添付するが、iPad で視聴している場合はダウンロードできない。

7 研究発表大会参加者ポリシー

- (1) 個人情報について
 - 個人情報の収集に当たっては、利用目的を明示した上で必要な範囲の情報を収集し、利用目的を公表し、その範囲内で利用します。
 - ご提供いただいた個人情報は、本学会のプライバシーポリシーに従い管理します。ただし、参加申込者へのサービス向上のため業務を委託する委託先に提供者自身により公開される個人情報については委託先の個人情報保護方針に従うものとし、本学会の管理の対象外とします。
- (2) 著作権について
 - 本大会が提供する情報に関する著作権その他の知的財産権は当学会又は当該情報の提供者に帰属します。
 - 参加者は、本オンライン実験教室が提供する情報を、当学会又は当該情報について権利を有する者の事前の承諾なしに、自ら又は第三者を通じて転載、複製、出版、放送、公衆送信その他知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。
- (3) カメラ、マイク、チャット等について
 - Zoom ウェビナーは通常の Zoom と異なり発表者以外の画像と音声は流れません。
 - 本大会の様子は記録としてビデオ記録を当学会で保持します。会報などで使用する場合はあらかじめご本人の了承を得ます。参観者によるスクリーンショット等の無断チャプター、映像や音声の SNS 等への拡散は禁止とします。
 - チャットは使用可能ですが、書き込む際には実名も記載してください。Q&A も使用可能ですが全てのご質問にお答えできないことがある点、ご了承ください。

開催日：令和6年9月28日(土)
司会：事務局次長 小山 守恵

令和6年度日本学校図書館学会研究発表大会プログラム

1. 9:30 開会あいさつ

会長 吉富 芳正

2. 9:35 一般研究発表（午前の部）

司会：研究委員 倉見 昇一

| No. | 時間 | 発表題目【発表者(所属)】 |
|----------|----------------------|---|
| 1 | 9:35-9:55 | 授業実践 学校図書館の授業での利用～NDCの理解と書架と本を戻す力を育てる～ 【阿部由美・村上恭子（東京学芸大学附属世田谷中学校）】 |
| 2 | 10:00-10:20 | 日本の学校図書館の選書を巡る言説：検閲と知的自由に関する議論を中心に 【斎藤純（専修大学経営学部）】 |
| 3 | 10:25-10:45 | 総合的な学習の時間における情報活用能力の育成 【桑田修（目黒区立中根小学校）】 |
| 10:45 休憩 | | |
| 4 | 11:00-11:20 | 生成系 AI の時代における学校図書館の利活用に関する検討：こどもの主体的・自発的な学習を促進するためには 【吉田稜（東村山市立東村山第一中学校）】 |
| 5 | 11:25-11:45 | 探究的な学習の基礎的スキルの育成とその課題～司書教諭と他教科の教員との協働から～ 【鈴木めぐみ（香蘭女学校）】 |
| 6 | 11:50-12:10 オンライン | 養護教諭と学校司書の同僚性―両者の協働による2つの教育活動を中心に― 【斎藤直人・高橋亜由実（新潟市立下山小学校）】 |

※ 発表15分+質疑応答5分（一鈴12分、二鈴15分、三鈴20分）

3. 12:10 昼休み

4. 13:20 一般研究発表（午後の部）

司会：研究委員 林 容子

| No. | 時間 | 発表題目【発表者(所属)】 |
|-----|-------------|--|
| 7 | 13:20-13:40 | 量的分析に基づく公立高等学校図書館の蔵書の現状と課題 【杉本啓輔（常葉大学教育学部）】 |
| 8 | 13:45-14:05 | 静岡県13市町の学校図書館の10年―学校図書館に関する調査から 【鈴木守・土井幸弘・杉本啓輔（常葉大学教育学部）】 |

※ 発表15分+質疑応答5分（一鈴12分、二鈴15分、三鈴20分）

5. 14:05 休憩

6. 14:15 課題研究発表

司 会：研究委員 高橋 菜奈子

課題趣旨説明

「これからの教育を創出する場としての学校図書館 ～学習センター機能に着目して～」

研究委員長 保 刈 栄 紀

| No. | 時間 | 発表題目【発表者(所属)】 |
|-----|-------------|---|
| 9 | 14:25-14:45 | 学校図書館 学習センター機能活用の支援・助言 【近江貞之・小川ひろみ・鳥海裕美（荒川区教育委員会事務局教育センター学校図書館支援室）】 |
| 10 | 14:50-15:10 | 日野市全体で取り組む学校図書館を活用した探究的な学習の充実～学校図書館の学習センター機能の向上を通して～ 【松永式子（日野市教育委員会）・須藤利伸・加藤健太（日野市立日野第六小学校）】 |
| 11 | 15:15-15:35 | 学校図書館における「創出」と「学習センター」機能の向上の連環～「ハブ」としての働きと「共通言語の発見」への着目から～ 【渡邊裕・村上恭子・関野かなえ（東京学芸大学附属世田谷中学校）】 |

※ 発表 20 分

7. 15:35 休憩

8. 15:45 総括討論とまとめ

進 行：研究委員 高橋 菜奈子

発表者：荒川区学校図書館支援室 近 江 貞 之

日野市教育委員会 松 永 式 子

東京学芸大学附属世田谷中学校 渡 邊 裕

9. 16:10 学会表彰報告

10. 16:15 閉会あいさつ

副会長 石 塚 等